

「水道料金・下水道使用料の現状とこれから」についての市民説明会・質疑応答

○場所：中央公民館（令和5年10月29日～30日）

No.	意見・質問	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の社会情勢から、料金改定を実施する自治体が全国的に増えており、本市の改定も致し方ないと思うが、市民に対しきちんと説明すべきところ、本説明会は広報不足である。 ・形だけの実施とならないよう、もっとPRして、多くの方に説明を聞いてもらい、様々な意見をもらうべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、ホームページ、SNS等で周知している。 ・後日ホームページに説明会の内容を動画で掲載予定である。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・料金・使用料の話だけでなく、上下水道事業について日頃から市民の方々に知っていただく努力をした方がよい。 ・上下水道事業に関する冊子は公共施設でない置いていないため、もっと多くの方に目にしてもらえよう工夫した方がよい。 ・小中学生に対しても上下水道に関するPRを行うべきであると考えますが、子どもたちに事業について知ってもらう機会は作っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター会議を年に6回開催し、上下水道事業へのご理解を深めていただけるよう努めている。 ・小学4年生を対象に、下水処理場の施設見学や浄水のしくみを学ぶための実験器具を貸し出すなど、上下水道への理解を深める取組を実施している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの水と比較すると水道水はいくらか。水道水の方がかなり安いということをもっとアピールしていくべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の原価は1リットルあたり約0.2円であり、市販のペットボトルの水500ミリリットルの約100円と比べ、安価であることをPRしていきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在市民生活は大変苦しい状況にあることから、水道・下水道だけでなく、住宅や医療の分野も含め、市全体で社会問題に取り組んでほしい。 ・市全体でプロジェクトを立ち上げ、優先順位を決めて取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見として受け止める。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の説明会の内容を他の方に対しても公開してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後日ホームページに説明会の内容を動画で掲載予定である。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・企業努力として、職員定数を見直したとのことだが、技術の継承などにおいて問題はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組を通して着実に技術の継承を図る。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の改定は必要最低限の値上げであるのか。また、今回改定すれば、施設の更新は着実に実施できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまで令和6年度から令和9年度の4年間で必要となる金額を算定しているため、必要以上に値上げをすることはしない。令和10年度以降も悪化傾向に変わりはないことから、施設更新を着実に進めていくためには、次の期間においても改めて改定の必要性を検討する必要がある。

8	<ul style="list-style-type: none"> ・豊中市は幸い少子高齢化の影響がそれほどない中、今のタイミングで改定を検討しているのは、物価高騰の影響が大きいのか。 ・物価高騰に関して、国から補助金をもらうことはできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に係る人件費や資材価格、施設の動力費の高騰の影響が大きい。 ・これまでも工事の内容に応じて補助金対象となるものは申請をしているが、物価高騰に関しては上下水道事業に対する個別の補助金がないことから、国に対し要望をしている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・他国や他自治体で、民営化により水質が悪化したり、料金が急激に上がったといった事例を聞くため、市による運営を継続してもらいたい。 ・少額の値上げで民営化せずに済むのであれば、協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見として受け止める。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・逡増度の見直し次第で、改定後の収入が変わると思うが、今回の改定後のシミュレーションは逡増度を現状のままとした場合の推計なのか。 ・他市と比較した場合の本市の逡増度の位置付けは。 ・逡増度が高いことで、大口使用者である企業が市外へ移ってしまう恐れはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の改定後のシミュレーションは、逡増度を緩和する方向で試算した収入に基づき推計している。 ・本市の逡増度は、水道が府内 33 市中最も高く、下水道は 3 番目に高い。 ・可能性はある。現に、地下水へ移行した企業もある。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・他市と比較した場合の水道料金・下水道使用料の位置付けは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、水道料金・下水道使用料合わせて、10 m³使用時も 20 m³使用時も府内 33 市中 2 番目に安い。 ・改定後、10 m³使用時は府内の低い方から 17 番目、20 m³使用時は 7 番目となる見込み。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の効率化のために、近隣自治体と広域連携により事業を運営する検討はしていないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪広域水道企業団との事業統合を実施もしくは検討している自治体もあるが、現時点では本市が加入するメリットが少ない。水道料金の急激な値上げが生じることや、高水準のサービスを維持できるかどうかといった課題も多く、現時点での統合は考えていない。 ・広域連携として、吹田市と配水場を共同化するなどにより、収入の確保に努めるとともに、経営の効率化を図っている。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・平均改定率は受容できる。 ・これまで 20 年程度値上げをせずに経営してきたのは評価できる。また、今後は定期的に改定を検討する必要があることも理解した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見として受け止める。

○場所：千里公民館（令和5年11月2日～3日）

No.	意見・質問	局回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ P7、P8 と P13、P14 を比較すると工事費用を平準化しているように見えない。 ・ P17 の経営 SIM を確認するとあと 1.2 年先に値上げでも良いのではないか。なぜ今なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P13、14 のグラフは事業量の平準化により、事業費の平準化を図っていることを示すものであるが、口径や設備の種類によって事業費の変動が生じる。 ・ 健全で持続可能な経営のために、料金回収率の適正化などを早急に図る必要があり、将来へ負担を先延ばししないために早い時期での改定が必要である。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道事業ともに経営 SIM では R5 年度に純利益が下がり、R6 年以降は回復傾向になるのはなぜか。 ・ 今後の投資の必要性をもう少し強調してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度の収支は、物価高騰、動力費（電気代）や工事費の著しい増加傾向分を見込んだことから赤字となっているが、令和 6 年度以降は、過去の実績を踏まえて推計している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回説明会に参加されている方はどのようなモチベーションで来られているのか気になる。 ・ 事務局側は何名程度来ていただくことを想定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回で 40 名程度を想定し、広報誌、ホームページ、SNS 等で周知している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が少ない状況を見ると広報不足が否めない。 ・ PR の方法としては「水道料金を値上げします」などのインパクトのあるタイトルが必要ではないか。 ・ 説明会の内容を SNS 等で公開してもらいたい。 ・ 豊中市の上下水道事業の技術力は高く、大規模な漏水事故が発生することもほとんどない状況であり、安定した水の供給に対するありがたさが伝わりにくいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後日 YouTube に動画を掲載予定である。説明資料は、既にホームページに掲載している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値上げをした場合、市民の負担はどの程度か。 ・ 他市と比較し、水道料金・下水道使用料の水準はどの程度か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点での試算では、10 m³使用時は 499 円（税抜）、20 m³使用時は 599 円（税抜）程度の値上げとなり、10 m³使用時は府内の低い方から 17 番目、20 m³使用時は 7 番目となる見込み。ただし、他の自治体も改定を検討しているとのことから、位置は変動するものとご理解いただきたい。

○場所：庄内コラボセンター（令和5年11月10日～11日）

No.	意見・質問	局回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・改定が決まった場合、改めて説明会は開かれるのか。 ・赤字を回避するだけであれば今改定せずともよいのでは。今回の改定の目的は？ ・施設整備の目標などを示せば、今後の投資の必要性やこれ以上投資を減らせないことを理解してもらいやすくなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改定後も市民説明会の開催を予定している。 ・赤字を回避するだけでなく、原価割れを起こしていないか、単年度の支払能力はあるか、借金へ依存しすぎていないか、などを示す指標を適正に維持できるような水道料金・下水道使用料の体系を構築することを目的としている。次世代に負担を先送りすることなく、持続可能な事業運営を実現するために、安定的に収益を確保できるような体系をめざしたいと考えている。 ・耐震化率の目標などを設定しているので、今後そういった指標を示しつつ、投資の必要性を説明するようにしたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要が減っている原因は人口減少が大きいのか。 ・水道管の更新のイメージが沸きにくいので教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊中市の人口は横ばい傾向であるため、節水意識の向上や節水機器の普及の影響が大きい。 ・現在は100年の耐久性がある耐震管を使用していることから、市内全水道管約800kmを年間約8,000m(約1%)ずつ更新することを目標としている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道のシミュレーションは、令和5年度が赤字にもかかわらず、令和6年度はここまで回復するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の収支は、物価高騰、動力費（電気代）や工事費の著しい増加傾向分を見込んだことから赤字となっているが、令和6年度以降は、過去の実績を踏まえて推計している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・他市と比較した時の本市の料金・使用料の位置付けは？ ・具体的な値上げ額の見込みを教えてほしい。 ・改定後の逡増度はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、水道料金・下水道使用料合わせて、10 m³使用時も20 m³使用時も府内33市中2番目に安い。 ・現時点での試算では、10 m³使用時は499円（税抜）、20 m³使用時は599円（税抜）程度値上げとなる。10 m³使用時は府内の低い方から17番目、20 m³使用時は7番目となる見込み。ただし、他の自治体も改定を検討しているとのことから、位置は変動するものをご理解いただきたい。 ・現在は水道の逡増度は府内33市で最も高く、下水道は3番目に高い。改定後は、高い方から水道が11番目、下水道が19番目に下がる見込み。

5	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の試算は加入金を考慮しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在加入金を廃止する方向で検討を進めており、今回の試算は加入金を徴収しないものとして、総括原価を算定している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使用している管は耐震性など機能性の高いものを使っているのか。 ・下水道で費用を抑えた工法を採用しているとのことだが、安全性や質に問題はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は 100 年の耐久性がある耐震管を使用している。 ・下水道管はマンホールから内部の状態が確認できることから、点検に基づき必要に応じて修繕することで、維持管理費用を抑えることができ、安全性も確保できている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管の整備や下水道管の「管更生工法」は、非常に合理的なやり方であると感じた。 ・値上げは妥当であると思う。現在の私たちが快適に暮らすのはもちろん、これからも続いていくライフラインであることから、値上げは致し方ないと思う。説明会に参加してよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見として受け止める。